

## コスモス畑プロジェクト、完結!?

多くの方にコスモス畑の1口オーナーになってもらったおかげで、7月29日にまいたコスモスの種が、10月22日にはこんなにきれいに咲きました！ ありがとうございます！ 多くの方々に写真撮影や癒しスポットとして楽しんでもらって

ても嬉しいです。

また、SNSに投稿してもらったりTV撮影の背景にも使ってもらったので、宗像市以外の地域の方々にもこの風景を観てもらうことができました！ 来年この畑は農業を始められる方にお貸しするのでコスモスは最期となりましたが、今回のプロジェクトを通じて「コスモス畑の種を分けて欲しい」とのお声もあったので、来年もしかすると市内のどこかで「よっちゃん農園出身」のコスモスが咲くかもしれません。私も、種を精製して食堂にくる子ども達に分けてあげようと思います。これからが本当の意味でのプロジェクトなのかもしれませんね。



## いつも全力！大切な宗像のために。 議員活動報告書

# アペマガ 2023年 新春号

## 会派活動 宗像市議会会派 宗像志政クラブ 活動報告

■10月28日に伊豆市長に宗像志政クラブから緊急要望書を提出いたしました。

### 要望の概要

- (1) 物価高騰対策
- (2) 事業者及び農業者・漁業者の経済活動の支援策
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて経営・労働環境が悪化している、介護施設や障がい者施設などに対する支援策
- (4) 公共事業、備品調達等についてこれまで以上に市内循環型へ移行する努力をすること
- (5) 全ての契約について、物価高騰の影響を確認し柔軟に対応すること

特に、福祉関係団体の皆様から寄せられた声については会派内で勉強会、協議を行ない要望につなげ、一部ですが12月議会の議案に反映していただきました。

■11月21日には河野副市長（伊豆市長公務のため代理出席）に令和5年予算要望書を提出いたしました。

### 要望の概要

- (1) 第2次宗像市総合計画の検証と新たな課題への対応
- (2) 市民生活の安全・安心の確保
- (3) 将来を見据えた行財政運営の実現

これまで毎年、政策的な要望を上げて参りましたが、今回は会派内の協議をさらに深め要望書として提出を行いました。今後も宗像市議会最大会派として、執行部と政策議論を行いながらより良い宗像市になるように努力して参ります。



## 県や国とのパイプ

11月JAむなかた本店で宗像農政協と宗像市県議・市議との懇話会が開催され、農政協から井上正文県議に対して資材価格高騰や耕作放棄地、有害鳥獣対策などについて要望書が手渡されました。

要望書の作成にあたっては私の実体験に基づく農地管理耕の課題解決のための意見も反映していただき、意見交換の場でも県職員に直接要望を伝えることができました。

今後も宗像市だけで対応できない課題については県や国とのパイプを活用できるように努めてまいります。



## 令和4年12月議会一般質問

※子どもから大人まで多くの人に読んで欲しいので発言の内容を分かりやすく書いています。

## 子ども・若者が夢を持てるまちづくりを



私は**社会教育（人づくり、地域づくり、絆づくり）**が大切だと思っているけど、宗像市は社会教育についてどう考えているのですか？

社会教育の意義や役割はいろいろと複雑になっていて、様々な困りごとに対応するために今の社会教育では「人づくり、地域づくり、絆づくり」が大切だと言われています。社会教育を担う役目の人が各地域のコミュニティ運営協議会や市民活動団体と一緒に汗をかきながら進んで行くことで、地域の困りごとや、地域に住んでいる人との絆を深め、地域で活躍する人材が育つように頑張っています。けれど、社会教育に関する仕事はたくさんあるし、種類も様々なので、地域の人たちとうまく協力することができないことがあります。その対策として、市民ニーズをしっかりと知り、スムーズに社会教育を進めて行くために来年4月から市役所の中の役割分担や席替えをしていきます。



宗像市には昔は「社会教育課」というはっきりした役割の部署があったけど、**今はいくつもの部署で社会教育に関する色々な仕事をしているから、協力しにくいし、お互いの考えがわかりにくいし、そもそも誰がリーダーなのか分かりづらい**ですよ。これから、もっと多くの人に関わりを持ってもらえるために、市役所の人たちが真っ先に「社会教育ってどんなことなの？」といった質問に答えられるように考え方を整理するんですよ？そして責任者（リーダー）がはっきりするんですよ？

社会教育について考え方を整理します。責任者（リーダー）はこれから役割分担や席替えをして担当になった人が、中心になって頑張ります。



社会教育の中には青少年活動、スポーツ団体の活動などが思い浮かぶけど、子どもたちの成長にどんな効果があって、宗像市にどんな良いことがあるんですか？また、その活動を市役所が先頭に立ってする場合と、市民が先頭に立ってする場合とではどう違うんですか？

子どもたちが学校以外の場で市民活動やスポーツ団体活動に参加することは様々な立場の人、考えを持った人たちと触れ合うことになるので、子どもたちの成長に良い影響を与え、健やかな大人に育っていくと思います。そして、市役所が先頭ではなくて、市民が先頭になって社会教育活動をする事は、子どもたちや保護者も地域と関わりを持つので、市民力がアップしていくと思います。



学校に「行きたい」「楽しい」「わくわくする」と思う子どもが増えて欲しいから、「修学旅行や入学式・卒業式を自分たちで企画したり」「通知表をなくしたり」「宿題をゼロにしたり」「好きな授業を選んだり」、**子ども自身が自分で考えて自分で選んで決める機会**をつくってもらえませんか？また、**学校以外にも子どもたちが安心して自立（将来自分がどんな大人になりたいか考える事）に向けて学ぶ機会・居場所を私達大人が作ってあげなければいけない**と思いますが、市役所はどう考えていますか？

全ての児童・生徒にとって魅力ある学校にするための努力は大切です。市内の各学校でも魅力ある学校づくりに取り組んでいます。しかし、残念なことに不登校の児童・生徒は増えています。不登校となる児童・生徒を取り巻く環境は様々なので、**学校以外にもオンラインによる授業を行って、全ての児童・生徒にとってベストな学ぶ機会、居場所づくりに向け、一人ひとりの状況に応じた取組**を行っています。これからも努力します。



もっと学校を魅力的にしようと先生達が努力されているのは理解しています。市内のある学校では校長先生のリーダーシップの下で子どもが学校に行きやすいように受け止める企画をしています。こういった工夫を市内の他の学校でもやって欲しいです。





学校の先生の頑張りにも限界があるのであれば、市内に子どもが安心して地域と関わる機会、学ぶ機会（フリースクールやプレーパークなど）を作った方が良いと思うけど、そのためには、お金や、保護者の負担、活動場所などの悩みがありますよね。  
そこで、例えば目的が社会教育だったり子どもの居場所づくりなど、一定の基準を満たした市民団体、スポーツ団体、NPOが活動する場合に、**電気照明代を割引したり、施設を借りやすくしたりして、子どもの居場所づくり活動を今まで以上に応援することはできませんか？**



コミュニティ・センターや、体育館などの公共施設を多くの人に使ってもらうことは大切なことです。しかし、宗像市ではこれまでに**市の照明使用料の利用料の割引をしたことで施設の経営状態が悪くなった**という理由から、使った分は使った人に支払ってもらうことを改めて決めています。今の時点では、このようなこれまでの事情も考えたうえで判断をしています。



**要望** 過去の事情で判断するというのですが、社会情勢は変わっていて、子どもたちを取り巻く環境はどちらかという悪くなっているの、過去の判断をまた見直すということも必要だと思います。今あるスポーツ団体や社会教育団体、青少年団体などの活動がこれからも続いていくという事は、そこに参加している子ども達の居場所がずっと続いていくことになります。割引や施設を借りるための相談に乗って欲しいです。



団体のほうから相談があれば、資金サポートも案内して事業をサポートしたい。相談内容によっては、市役所の他の部署とも話し合っ対応します。



**要望** 宗像市の資金サポート期間は3年間です、子どもの育ちに関わることはずっと続かないと、その活動が無くなってしまえば、次の世代の子どもをどうするの？ということになるのでそこも協議をして欲しいです。



ひきこもりなどの子ども・若者が働くことを応援するための現状と課題について教えてください！



**児童・生徒の置かれた状況によって支援の在り方は様々**です。  
●不登校の児童・生徒に対しては、教育サポート室エールや相談指導員につないでいます。行きにくい時にはスクールソーシャルワーカーが子どもを家まで迎えに行き、一緒に登校するサポートをしています。  
●サポート室エールに通うことができない子どもたちやその保護者に対しては、相談指導員が家庭等を訪問し相談やサポートをしています。若者のサポートは相談を幅広く受け止めて行っています。若者の御家族からの相談にも継続的に寄り添ったサポートを行っています。  
●児童・生徒においては、家庭訪問をしても本人やその保護者に会うことができないケースがありますが、本人や保護者と交流してサポートができるように努力します。

学校とのつながりが無くなる年頃の若者のことは、家族から相談が無ければ市役所も知ることができないので、家庭内で悩み事を抱え込んでしまって、周囲の人たちも気づけないことでより深刻になることが心配です。今後、県のひきこもり地域支援センターや若者サポートセンターなどの相談窓口があるということをお知らせして、本人や家族から相談してもらえようになりたいです。



宗像市の調査結果は？



自宅にいがちな子どもに対しては、スクールソーシャルワーカーや相談指導員が家庭に訪問して、面談や聞き取りを行うサポートを行っています。引き続き訪問サポートを行い、本人や保護者の意見や要望を聞きながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供できるようにしたいです。  
また、福岡県の調査の結果、宗像市の民生委員、児童委員105人の中で担当している地区の子どもの状況がわからない民生委員が約半数近くいることがわかりました。地域住民と仲良く接して活動されている民生委員でさえ状態を把握できないようなので、多くの子どもたちが悩みを抱えているのではないかと考えられます。県と協力しながら、相談サポート窓口を多くの人に知ってもらえるように、当事者や御家族や地域に密着している民生委員らにもお知らせしていく必要があります。

福岡若者サポートステーション

092-739-3405



ニーズ調査や分析の有無を聞きましたが、その答えがありませんでした。



全ての子どもたちに対するニーズ調査等は行ってはいませんが、スクールソーシャルワーカー等がサポートをしている子どもについては相談を伺っています。  
分析については、調査をしていないのでできていませんが、聞き取りを行った内容については、今後のサポートに活かしたいです。



**思い** まず大前提としてまちづくりを進めていく時に、誰のために行うか、その人たちが何を求めているのか、それが重要だと感じました。



小学校や中学校で社会科見学やわくわくワーク、子ども大学を行って、地域や働くことについて学ぶ機会があります。ひきこもりの子ども・若者に対しても、希望者は就労のお試し体験の機会をつくるのが大切だと思います。  
例えば、**市内の就労支援事業者を対象年齢前から見学に行くことや、子ども・若者に働く場所や機会を提供してくれる企業を募集することはできませんか？**  
そして、**外出することが難しい場合は、オンライン学習や自宅を訪れるサポートに力を入れる必要があるのではないですか？**



**子どもたちが早い時期から将来の夢や仕事について興味や関心を持つことは大切**です。実際に職業体験や様々な体験活動を行うことで、働くことについて考えたり社会参加について考えるきっかけになると感じています。外出が難しい子どもたちにとって、家庭において興味を持った学習や作業を体験できるようになれば、自分の将来について考え、将来に向けて一歩を踏み出すきっかけになると思います。子どもたちの意見なども聞きながらどんなことができるか考えたいです。



**まとめ** 子どもたちの身近に安全で安心できる居場所を増やし、社会教育を進めていくことは子ども・若者を取り巻く環境をより良くすることにつながり、社会に興味を持つ市民も増えるので、将来の宗像市が今よりもっと明るくなることにもつながると思います。

※要約は安部の個人的見解、主張です正式には質問のやり取りの様子が動画として視聴できますのでそちらでご確認ください。



## ?あの提案はどうなった?

### 広報紙事業

令和5年度から広報紙の全戸配布が段階的にスタートする予定です。

**変更点①** これまで月2回発行していたものが月1回発行に。

**変更点②** これまで自治会による配布しか選択肢がなかったものを、各地区コミュニティ単位に業者へポスティング（全戸配布）を委託できる選択肢が増えました。

広報紙事業の目的はより多くの市民へ情報機会を提供することであり、中でも高齢世帯へ紙媒体である広報紙の全戸配布を行うことは防災情報をはじめ**安全安心な生活に関する情報を提供する意味からも大切**です。また、ポスティングの導入は、本市の課題の一つと言える自治会役員の負担軽減にもつながります。そして、全戸配布となれば広告スポンサーの獲得も期待できますし、月2回から月1回に発行回数が減るので、編集作業経費の抑制効果も期待できます。  
私はこれまでに市役所に対して「**フリーペーパー等、民間活用による広報誌の全戸配布（2018年）**」の提言を行っておりますが、推進にあたっては、地域事情の把握に努め、自治会加入促進等の対策を講じるとともに、自治活動への影響を懸念する声に対しても丁寧な説明を行い、柔軟な移行に努めて欲しいと賛成討論の中で要望を行いました。



### 子どもの居場所づくり

我が家の隣にある「みんな食堂」さんが大学生の見守りボランティアを募集しています！詳しくはQRコード→にアクセス！

